令和5年度　指定管理者モニタリングレポート

施設名	串間温泉いこいの里
所在地	串間市大字本城987番地
指定管理者	名称　大淀開発株式会社 代表者　代表取締役　堀之内　芳久 住所　宮崎県都城市長飯町5427番地1
モニタリングの実施方針・方法等	業務報告書の提出を受け、モニタリングを行った。 また、サービスの質については、運営評価モニター会議にて、適正なサービス提供が行われているかを確認した。
担当課（問い合わせ先）	串間市役所　商工観光スポーツランド推進課　観光スポーツランド推進係 （TEL0987－55－1126　内線268）

■モニタリングの総合コメント

串間温泉いこいの里は、地域の資源である温泉を活用して、市民はもとより観光客等に対して健康増進と心身のリフレッシュの場を提供することで、交流の推進及び福祉の増進に寄与している。また、多様な機能が集約されていることで、地域コミュニティの活性化の場となっている。

令和5年度は、前年度と比較して温浴部門は15％の増収であったが、宿泊部門は30％の減収となった。宿泊部門については、昨年は各種の旅行支援割があったため、その影響が大きかったと考える。

温浴客は増加傾向であるため、レストラン・売店への利用につなげる取組みが重要である。魅力ある飲食物販メニューの開発提供や自主事業イベント等の企画を行うことで、さらなる利用者増と収支改善に努めていただきたい。

■今後の業務改善に向けた考え方

施設については適正に管理がなされている。施設・設備は老朽化に伴い修繕箇所が増加していることから、引き続き、日常管理における点検・メンテナンスに努めていただきたい。

合宿受入やマイクロバスでの無料送迎を行う宴席受入等、市外からの利用者増に継続して取り組んでいただくとともに、市民の「いこいの施設」となれるように市内関係団体との連携した取り組みを推進していただきたい。

温浴客を飲食物販や宿泊につなげるために、さらに魅力的な商品開発や品揃えの充実を図り、収益増と利用者の満足度向上に資する取り組みに努めていただきたい。

■基本的な考え方（施設の性格・目的との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性
健康増進と心身のリフレッシュの場を提供する温泉施設として、施設の設置目的に沿った運営が行われている。

■業務内容

・機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）
地元団体と連携したイベントの企画や地場産品の販売、地域食材を活かした食の提供など、スポーツ合宿誘致等に積極的に取り組まれていた。今後は、さらに飲食物販や宿泊の利用者を増やすため、効果的な情報発信と魅力的な飲食・宿泊プランの開発・セールスに努めていただきたい。
・責任性・実効性（施設の運営体制や組織）
基本協定書に基づき、適正な管理運営が行われていた。施設の維持管理についても適切に行われており、連絡調整会議等においても市と指定管理者間の意思疎通が十分なされていた。
・明瞭性・規律性（適正な事務や経理）
金銭管理、業務報告等については月例報告書により提出され、適正になされていた。
・安全性（安全管理、緊急時等の対応）
施設・設備の不具合の発生時や、利用者に影響が及ぶような突発対応時には、市への報告は迅速に行われている。
・社会性（環境等への配慮）
太陽光発電設備及び木質バイオマスボイラー設備が導入され、光熱水費の削減を図ると同時に、市の推進する再生可能エネルギーの普及啓発にも寄与している。

■事業収支

経済性
収支については、依然として厳しい経営状況となっている。さらなる利用者増と収益増を目指して、魅力的な商品開発やサービスの提供、経費の削減等に努めていただきたい。

■団体の経営状態

経営の健全性
さらなる経費節減に努める必要がある。これまでの施設運営に係るノウハウやデータ分析等により、さらなる収益増と経営改善を目指して、効果的かつ効率的な施設運営に努めていただきたい。